

議 長 休憩を解いて再開をいたします。 (10時30分)

日程第4「議案第29号平成30年度松田町上水道事業会計予算」を議題といたします。

町長の提案説明を求めます。

町 長 議案第29号平成30年度松田町上水道事業会計予算。

(総則) 第1条、平成30年度松田町上水道事業会計予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量) 第2条、業務の予定量は、次のとおりとする。

(1) 給水戸数4,261戸。

(2) 年間総給水量110万立方メートル。

(3) 1日平均給水量3,013立方メートル。

(4) 主要な建設改良事業、給水管布設替え工事、983万8,000円。

(収益的収入及び支出) 第3条、収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

収入、第1款、水道事業収益1億5,290万1,000円、第1項営業収益1億1,310万2,000円、第2項営業外収益3,979万8,000円、第3項特別収益1,000円。

支出、第2款、水道事業費用1億5,290万1,000円、第1項営業費用1億1,725万1,000円、第2項営業外費用920万3,000円、第3項特別損失1万円、第4項予備費2,643万7,000円。

(資本的収入及び支出) 第4条、資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。(資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額3,708万9,000円は、過年度分損益勘定留保資金、当年度分損益勘定留保資金及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額で補填するものとする。)

収入、第3款、資本的収入1,620万円、第1項企業債1,560万円、第2項負担金60万円。

支出、第4款、資本的支出5,328万9,000円、第1項建設改良費4,155万7,000円、第2項企業債償還金1,173万2,000円。

1枚おめくりください。(債務負担行為) 第5条、債務負担行為をすることができる事項、期間及び限度額は、次のとおりと定める。

事項、土木積算設計システムリース料。期間、平成30年度から平成35年度。  
限度額71万6,000円。

(企業債)第6条、起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は次のとおりと定める。

起債の目的、上水道事業。限度額、1,560万円。起債の方法、普通貸借または証券発行。利率、年5%以内。(ただし、利率見直し方式で借り入れる政府資金及び地方公共団体金融機構資金について、利率の見直しを行った後においては、当該見直し後の利率。)償還の方法、政府そのほか金融機関の資金については、その融資条件による。ただし、措置期間及び償還期限を短縮、もしくは繰り上げ償還または、低利に借り換えることができる。

(一時借入金)第7条、一時借入金の限度額は、1,000万円と定める。

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費)第8条、次に掲げる経費については、その経費の金額を、それ以外の経費の金額に流用し、またはそれ以外の経費をその経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。

(1)職員給与費2,767万6,000円。

(たな卸資産の購入限度額)第9条、たな卸資産の購入限度額は、203万1,000円と定める。

平成30年3月6日提出、松田町長 本山博幸。よろしくお願ひいたします。

議 長 町長の提案説明が終わりました。担当課長の細部説明を求めます。

環境上下水道課長 それでは、細部説明をいたします。280ページ、281ページをお願いいたします。平成30年度松田町上水道事業会計予算実施計画です。収益的収入及び支出は、3条予算に当たります。

収入です。款1、水道事業収益は予定額1億5,290万1,000円です。項1、営業収益は1億1,310万2,000円、内訳としまして、目1、給水収益の水道使用料としまして1億636万9,000円を計上してございます。目3、その他の営業収益は673万3,000円を計上しております。給水装置の開始・中止の手数料や他会計負担金としまして、下水道徴収事務負担金等を計上してございます。項2、営業外収益は3,979万8,000円です。内訳としまして、目1、受取利息及び配当金

で預金利息として3万9,000円を、目2、雑収益で寄簡易水道事業特別会計から事務委託分の繰入金や加入負担金など、計2,552万8,000円を計上してごさいます。目3、長期前受金戻入は1,423万1,000円。これは会計上必要な経費で、現金の動きがない収益でございませう。

続きまして、右のページをお願いいたします。支出でございませう。款2、水道事業費用、予定額1億5,290万1,000円。項1、営業費用は1億1,725万1,000円です。内訳としまして、目1、原水浄水配水及び給水費は、施設管理費用として3,045万6,000円。目3、総係費は一般管理関係の費用として3,006万5,000円を計上してございませう。目4、減価償却費5,530万3,000円と目5、資産減耗費142万7,000円は、実際の支出は伴わず、資本的支出のための留保資金となるべきものでございませう。次に項2、営業外費用です。予定額920万3,000円。内訳としまして、目1、支払利息313万5,000円で、企業債利息などです。目2、消費税及び地方消費税ですが、530万円を予定してございませう。次に項3、特別損失につきましては、3月31日を挟んで還付金が発生した事態を想定して予算立てをしているところでございませう。続いて項4、予備費でございませうが、2,643万7,000円を予定しております。この中にですね、先ほど申しました長期前受金戻入相当の1,423万円が入ってございませうが、この分につきましては、予備費に入ってございませうが使用できない予算ということになるところでございませう。次のページの資本的収入及び支出の4条予算については、3条予算とともに実施計画の内訳で説明させていただきます。

それでは、ページが少し飛びまして292、293ページをお願いいたします。予算実施計画内訳の収益的収入及び支出を説明いたします。それでは収入です。款1水道事業収益、項1営業収益、目1給水収益です。節1、水道使用料は1億636万9,000円で、前年比40万4,000円、0.37%の減額となっております。内訳については附記に記載のとおりでございませう。目3、その他の営業収益は、673万3,000円で、前年度比1万9,000円の増となっております。次に項2、営業外収益です。3,979万8,000円を計上してございませう。目2、雑収益です。本年度2,552万8,000円で、前年比1,261万4,000円の増となっております。目3、長期前受金戻入でございませう。これについては、先ほど説明したとおりで

ございます。したがって収入合計でございますが、1億5,290万1,000円となり、前年比1,229万9,000円の増収となっているところでございます。

続きまして296ページ、297ページをお願いいたします。支出でございます。款2水道事業費用、項1営業費用、目1原水浄水配水及び給水費です。本年度3,045万6,000円で、前年比157万9,000円の増額でございます。増額の主な理由といたしましては、委託料のPCB工作物廃棄物の処理委託の増でございます。

1枚おめくりください。1ページおめくりください。節25動力費でございます。動力費は宮下水源、中河原水源のポンプ場等の電気料としまして、1,858万8,000円計上してございます。目3、総係費です。この目は一般管理経費で、本年度予定額3,006万5,000円でございます。対前年比181万3,000円の減額でございます。主な減額要因といたしましては、職員手当等人件費の減額によるものでございます。

1枚おめくりください。目4、減価償却費及び目5、資産減耗費については、実際の支出は伴いませんが、中河原電気設備改修工事の平成29年度出来高払い分の増など、減価償却費が19万円の増になってございます。資産減耗費も81万2,000円の増となっております。

続きまして、項2、営業外費用です。目1、支払利息です。節38企業債利息で平成4年からの配水管布設替え等の事業に対して、企業債利息313万5,000円を計上してございます。目2、消費税及び地方消費税です。今年度530万円で前年度比236万円の減額となっております。

次のページをおめくりください。項3、特別損失でございます。特別損失は、先ほど説明したとおりのことでございます。項4、予備費でございます。2,643万7,000円の計上でございます。

次のページ、304ページ、305ページをお願いいたします。こちらが資本的収入及び支出の4条予算関連になります。まず、款3資本的収入、項1、目1とも企業債で、今年度予定額1,560万円でございます。支出で説明いたします工事請負費1,739万8,000円を企業債で対応するものでございます。

次のページをお願いいたします。資本的収入及び支出の支出でございます。款4資本的支出、項・目とも建設改良費です。本年度3,952万7,000円で、前年

度比4,612万7,000円の減額でございます。この減額の主な理由といたしましては、中河原水源の電気改修工事の完了等によるものでございます。節15委託料では、会計システムコンビニ収納対応に1,169万2,000円。続きまして節21工事請負費では、現在、県で施工してございます県道72号線の歩道整備にあわせて、老朽化した配水管の布設替え工事、町道6号線肉八前の配水管の布設工事のほか宮下水源の警報装置の更新工事に合計1,739万8,000円を計上させていただきました。

次に、固定資産購入費でございます。本年度203万円で、前年度比10万8,000円の減でございます。節28材料費で、量水器の購入費を計上してございます。計量法により8年以内で順次交換しておりますため、今年度につきましては380器分を予算として計上してございます。

続きまして、項・目とも企業債償還金で1,173万2,000円でございます。元金償還金で平成4年度からの事業15件分の元金償還金を計上してございます。

続きまして、上水道会計は企業会計でございますので、財務諸表に基づきまして説明をさせていただきます。284ページをお願いいたします。こちらがですね、平成30年度のキャッシュ・フローの計算書でございます。平成30年度から31年にかけての、期首と期末の現金の増減がですね、どのような企業活動に由来するのかわを示しているものでございます。下から2番目、5、資金期首残高は3億6,059万3,090円でございます。その下の6、資金期末残高は3億9,185万8,180円となりまして、30年度中に増減する現金はですね、3,126万90円の増となり、4、資金増減額に記載してございます。この金額は、1、業務活動によるキャッシュ・フロー、主に3条予算、収益的収支が関連するもので、2、投資的事業によるキャッシュ・フローと、3、財務活動によるキャッシュ・フロー、主に4条予算の資本的収支が関連するものですが、それぞれこの3つのですね、差し引き合計額となるところでございます。

続きまして、285ページ、平成29年度の松田町上水道事業の損益計算書でございます。営業収益9,770万、営業費用1億411万5,000円の見込みでございます。1の営業収益から2の営業費用を差し引いた営業利益は、641万5,000円の赤字の見込みでございます。3、営業外収益2,369万3,000円。4、営業外費用

につきましては402万2,000円の見込みでございます。3の営業外収益から4の営業外費用の差し引き額は1,967万1,000円の見込みでございます。

したがって、当年度の経常利益は1,325万6,000円の見込みになります。これから過年度分損益修正損99万円を引いた1,226万6,000円が当年度の純利益となります。この純利益に前年度繰越利益剰余金8,697万2,000円を足した額から、その他未処分利益剰余金変動額2,220万6,000円を引いたものですね、当年度の未処分利益剰余金といたしまして、7,703万2,000円になる予定でございます。これは、ちなみに対前年比994万円ほど減額の数字になります。なお、次ページから286ページにかけて予定貸借対照表、311ページ以降に給与費明細書、継続費に関する調書、債務負担行為に関する調書、企業債明細書、投資的事業の概要を添付しておりますので、後ほど御高覧いただければと存じます。

以上で説明を終わります。よろしく御審議のほどお願いいたします。

議 長 担当課長の細部説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

3 番 井 上 1点ですね、お伺いをしたいと思います。最後のですね、投資的事業の概要の中に、会計処理システムでコンビニ収納対応改修委託ということで、額として予算額としては1,169万2,000円を30年度予算でですね、計上をされていると思いますが、この考え方についてですね、教えていただきたいと思います。

昨日の予算特別委員会等でもですね、収納の関係でですね、平成31年度からコンビニ収納をというお話がありました。そこでですね、やはり松田町全体として収納に係る部分でですね、コンビニ収納は全て対応していこうという考え方に基づいてですね、やはり上水道事業会計がですね、やはり企業会計全体の額から比べると1,169万2,000円というのはですね、かなり大きな額だと思います。かなりここで、このコンビニ収納を対応することによってですね、水道料金ですね、未収がかなり対応できていくのか、それともまだ、やはり町全体の収納方法としてですね、統一的な考え方をとりたいのか、その辺の考え方をですね、お知らせいただきたいと思います。

環境上下水道課長 お答えいたします。現在、いわゆる口座振替とですね、いわゆる納付書の振

り込みの大体割合というのが、大まかでございますが、7割・3割という形になってございます。7割の方については口座の振り替え…ごめんなさい。口座からの引き落とし。残りの3割の方が納付書というふうな形になってるところでございます。きのうの予算特別委員会でも齋藤議員のほうからもお話ししましたとおり、当然コンビニ収納になればですね、24時間納めていただくこともできるような形になりますし、当然、利便性の向上といったところもですね、図られるのではないかとということで、それはイコール収納率の向上につながるかというふうな、当然、我々としても期待を持っているところでございます。ただ、いずれにしろ、コンビニ収納にしたからといってですね、劇的に収納率が上がるかというところは、また別の話になりますので、私ども、極力ですね、100%収納を目指してですね、いかなければならないというふうな、常に認識をしているところでございますので、そのための一助にもなればというふうな認識でおるところでございます。以上です。

3 番 井 上 今ですね、現在、水道料金についての収納率とかですね、未納の額というのがわかればですね、教えていただきたいと思うんですけども。

環境上下水道課長 まず、上水道事業の収納状況でございますが、2月28日現在でございます。29年度調定額の収納率がですね、97.3%、滞納繰越分について13.5%というデータが出てるところでございます。以上です。

3 番 井 上 未納…滞納額ですね。滞納額についてはどのぐらいあるのか、わかれば。

環境上下水道課長 滞納額といたしましては、合計でございますね、995万円ほど、滞納額が今のところ発生してございます。

3 番 井 上 ありがとうございます。収納率でございますね、現年度に対しては97.3%、滞納額が995万円ということで、この滞納額から比べた場合に、かなりこのコンビニ収納の改修委託はですね、やっぱり高額な部分だというふうに考えます。ただ、納めてる人と納めてない人、またあと利便性を考えればですね、私としてはやはりコンビニ収納というのはですね、そういう収納機会をですね、多くするというところで、上水道料金でございますね、公平負担につながるかというふうに思います。今後ともこの制度をですね、利用してですね、収納率を上げていただくよう要望して終わります。ありがとうございます。

議 長 ほかに。

12番 大 館 1点だけお聞かせください。297ページですね、委託料の中で、PCBの  
工作物廃棄処理委託が百四十何万計上されていますけれども、PCB使用禁止  
になってから久しいわけですが、この水道施設、町のほかの施設も含め  
てですね、まだ、これいつ終わるのか、ちょっと目安的なものありますか。

環境上下水道課長 水道関係ですね、PCBの廃棄物についてはですね、現在、宮下水源の倉  
庫に保管しているところがございます。この高濃度のPCBですね、廃棄物  
の処理につきましては、全国で相当数がたまってるといいますね、処理待ち  
の状況でございます、いわゆる県ごとにですね、割り当てがあつて一気に処  
理ができないというふうなことを聞いてございます。今年度、対前年比、かな  
りの金額をここで盛らせていただいたんですが、聞くところによりますと、30  
年度はですね、神奈川県は番だということで、我々としても、今、持ってるで  
すね、PCBをここで廃棄できるのではないかと、全部処理できるのではない  
かというふうな期待を持っているところがございます。以上です。

議 長 ほかに。

(「なし」の声あり)

質疑なしとのお声ですが、質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

質疑なしと認めます。討論に入ります。

(「省略」の声あり)

討論を省略して採決を行って御異議ございませんか。

(「異議なし」の声多数)

異議なしと認めます。討論を省略して採決を行います。議案第29号平成30年  
度松田町上水道事業会計予算について、原案のとおり決することに賛成の方の  
起立を求めます。

起立全員であります。よって、本案は原案のとおり可決されました。